

GX-9000 型 簡易取扱説明書

ご使用にあたって

ガス濃度の測定を開始する前に、以下の内容を確認してください。

- ・電池残量が十分であること。
- ・ガス採集チューブおよび中継チューブに折れがないこと。
- ・ガス採集棒内のフィルターに汚れや目詰まりがないこと。
- ・本体とガス採集棒および採集チューブが正しく接続されていること。

使用方法

1.電源の入れ方

POWER/ENTER ボタンをブザーが“ピツ”と鳴るまで押し続けてください。
電源を入れると LCD 表示部が全点灯し、測定モードとなります。

2.エア調整の仕方

測定モードで、▲/AIR ボタンを押し続け、画面に[AIR ボタン離す]と表示されたら、▲/AIR ボタンから指を離してください。
エア調整が正常に行われると、結果が表示されます。

注意: 新鮮な大気中で行ってください。

3.測定の仕方

測定モードになっていることを確認し、ガス採集棒を漏洩する可能性のある場所に近づけてください。大気中の検知対象ガスを測定します。

4.警報の鳴動/解除方法

[警報の鳴動]

ブザーが鳴動し、濃度表示ランプが点滅します。
警報を解除しない限り、検知対象ガスが存在しなくても警報音等が鳴動し続けます。

[警報の解除]

検知対象ガスの濃度が正常な濃度に戻った後、RESET/▼ボタンを押すと警報動作が解除されます。

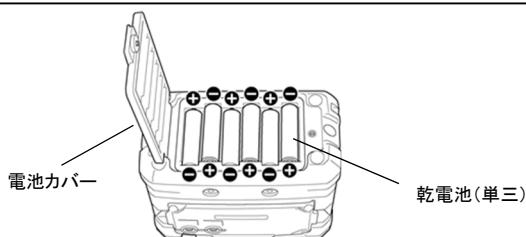
5.電源の切り方

POWER/ENTER ボタンを押し続けてください。ブザー音が“ピッピッピッ”と 3 回鳴り、表示部に [電源オフ]と表示され、電源が切れます。

6.電池交換/充電方法

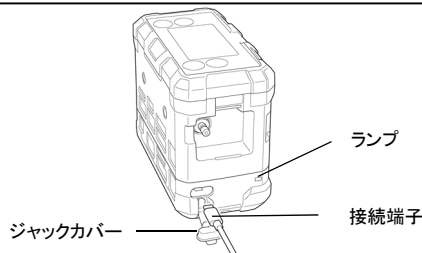
[乾電池ユニットの場合]

本体裏側の電池カバーを開けて乾電池を 6 本とも新しいものに交換してください。



[リチウムイオン電池ユニットの場合]

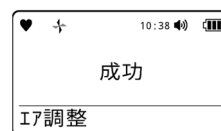
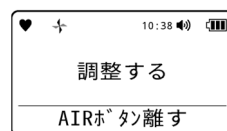
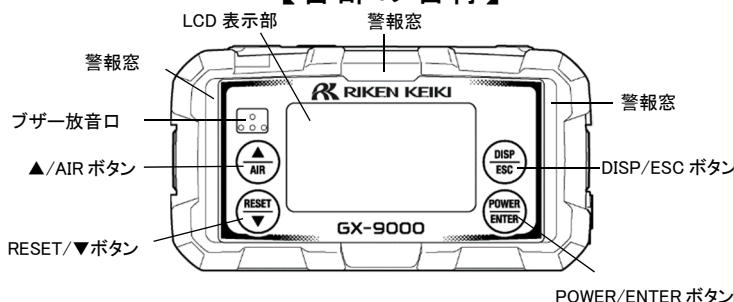
電池ユニットの側面にある充電ジャックに接続端子を差し込み充電を行ってください。



注意: 電池交換・バッテリーユニットの充電は非危険場所で行ってください。

注記: 詳細は取扱説明書をご参照願います。

【各部の名称】



トラブルシューティング

症状	原因	処置
<u>電源が入らない</u>	電池が極端に消耗している	①リチウムイオン電池ユニットの場合：安全な場所で充電してください。 ②乾電池ユニットの場合：安全な場所で新品の乾電池（6本全て）に交換してください。
	電池ユニットの実装不良	電池ユニットが正しく本体に装着されているか確認してください。
<u>異常な動作をする</u>	突発的な静電気ノイズ等による影響	電源を切り、再度電源を入れて再起動してください。
<u>操作ができない</u>	突発的な静電気ノイズ等による影響	安全な場所で、電池ユニットを外してから再度電池ユニットを取り付け、電源を入れてください。
<u>流量異常が表示される</u>	流路の詰まり	配管の折れや水吸いなど、不具合の箇所を修復し、RESET/▼ボタンを押してポンプを再起動してください。
	ポンプが劣化している	ポンプの交換が必要です。 販売店または最寄りの弊社営業所にご連絡ください。
<u>電池電圧低下警報が表示されている</u>	電池残量がなくなっている	①リチウムイオン電池ユニットの場合：安全な場所で充電してください。 ②乾電池ユニットの場合：安全な場所で新品の乾電池（6本全て）に交換してください。
<u>システム異常が表示される</u>	本体回路に異常がある	販売店または最寄りの弊社営業所まで修理をご依頼ください
<u>センサ異常が表示される</u>	センサが正しく取り付けられていない	センサが正しく取り付けられているか確認してください。
	センサに故障が発生した	販売店または最寄りの弊社営業所までセンサ交換をご連絡ください。
	センサとの通信に不具合が生じた	新しいセンサに交換してください
<u>[メンテナンス時期です]が表示される</u>	設定されたメンテナンスお知らせ期限を過ぎていることをお知らせしています。(国内仕様のみ)	販売店または最寄りの営業所にメンテナンスをご依頼ください。

起こりえる不具合の原因究明の手助けとなるものを簡単に示しています。
ここに記載のない症状や、対策を行っても復旧しない場合は販売店又は最寄りの営業所にご連絡願います。

本機器は保安計器ですので

6か月に1回以上点検することをお勧めいたします。

注記：詳細は取扱説明書をご参照願います。